

## 区別計画策定に向けた検討シート（中区）

### 2 現状と課題

交通	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民意識調査によると、「バスや鉄道などの公共交通の充実」に対する満足度が4区の中では最も高い。</li> <li>・一方で、都心部に向かう橋の近くや県道岡山牛窓線など、片側1車線のみの一部幹線道路等では、通勤時に慢性的な渋滞が発生しており、バスの遅れなども生じている。</li> <li>・自転車利用環境向上への市民ニーズが高い。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>①交通利便性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通勤時の渋滞等を解消し、公共交通の利便性を向上させるため、外環状・中環状線等の幹線道路等の整備を推進していく必要がある。</li> </ul>
保健福祉、子育て	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率は市平均より低い、「ひとり暮らし高齢者」「高齢者のみの世帯」の割合は4区の中で最も高い。</li> <li>・高齢化率が高い地域の中には、コミュニティのつながりを深め、高齢者を地域で支えるため、活発に取り組んでいる地域がある。</li> <li>・子どもの割合は南区と並び最も高く、合計特殊出生率は4区の中で最も高い。</li> <li>・各中学校や小学校区単位で健康市民おかやま21の推進体制があり、特に学校と連携して食育などの普及啓発活動を推進している。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>①高齢者世帯を地域で支える仕組みづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化率が高く単身高齢者が多い地域を中心に、高齢者を地域で見守る仕組みづくりを推進していく必要がある。</li> </ul> <p>②子育て環境の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育て支援など子育て環境の整備を進める必要がある。</li> </ul> <p>③地域における健康づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校と連携した普及活動が進む中で、子どもの保護者などの幅広い世代への健康づくりに取組を広げる必要がある。</li> </ul>
防災・防犯 (安全・安心)	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・操山以南の江戸時代の新田開発によって形成された地域は土地が低く、宅地化の進行により、水田が持つ保水機能が低下したこともあり、近年頻発する集中豪雨時に、浸水被害が発生する地域も新たに生じている。</li> <li>・想定される南海トラフ巨大地震等による津波の発生時には、操山以南の海拔ゼロメートル地帯を中心に多くの被害が発生する恐れがある。</li> <li>・住宅密集地域では、道路が狭く、区内全域に用水路が多くある。</li> </ul>

## 区別計画策定に向けた検討シート（中区）

	<p><b>【課題】</b></p> <p>①地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南海トラフ巨大地震等に対し、自主防災組織率の向上を図り、津波から避難できる体制を整えておくとともに、高齢化の進んだ地域では、災害時における要配慮者の支援等を進める必要がある。</li> </ul> <p>②浸水対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・倉安川の堤防護岸整備や河床掘削等の河川改修を進めるとともに、倉安川以南の市街地等で浸水対策を進めていく必要がある。</li> </ul> <p>③用水路の安全対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・用水路への転落事故が発生しており、転落危険個所を把握し、必要な安全対策を進めていく必要がある。</li> </ul> <p>④地域防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域防犯活動の充実に向けて、防犯ボランティア団体への情報提供や研修などの支援を進める必要がある。</li> </ul>
コミュニティ	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会の加入率は、高齢化の進展やマンション居住世帯の増加などにより減少傾向にあり、中区の加入率は81.3%で、市平均を下回っている。</li> <li>・高度経済成長期の開発された団地等、近年高齢化が急速に進んだ地域では、自治会組織や団体のメンバーの高齢化が進んでいる。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>①地域コミュニティの活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民のきずなを強め、協働意識を高めていくため、文化・スポーツイベントの開催や地域の伝統行事などの地域交流の場を増やし、参加者の増加を図るとともに、特に若年層の地域活動への参加を促していく必要がある。</li> </ul>
特色ある地域づくり	<p><b>【現状】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・操山北麓の沢田地区では地域ブランドとして有名な「沢田の柿」を生産しており、収穫時には「沢田の柿まつり」を開催し、沢田の柿の地産地消の推進とイベントを通じた地域振興を図っている。</li> <li>・酒米の最高品種である雄町米については、ご当地グルメを作り、地域イベントで販売するなどのPR活動が取り組まれている。</li> <li>・区内の大学（2校）と地域とが連携して、「認知症カフェ」や、ESD活動として里山再生活動などを実施している。また、学生と地域住民とが協働で、学区内避難路の危険個所の点検や災害避難マップを作成している。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <p>①地域資源の活用と情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の自然活動の拠点である操山公園里山センターや、曹源寺をはじめとする歴史文化遺産、地域特産物、点字ブロックの発祥の地などの地域資源を活用し、地域を活性化していくとともに、それらの情報を広く発信していく必要がある。</li> </ul> <p>②協働による地域活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自治会組織、NPO、企業などが連携しながら地域づくりに取り組んでおり、このような多様な主体との協働の取組を拡大していく必要がある。</li> <li>・学生など若者の地域活動への「参加」や、学校と自治会組織との「連携」を進めるなど、若者の力をいかした地域づくりを進めていくことが期待される。</li> </ul>